

令和元年度特定非営利活動に係る事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人まえはら子育てネットワーク

1. 事業の成果

令和元年度も、NPO 法人として“地域の中でみんなで育つ”ことをミッションに教育及び保育、子育て支援を実践してきた。認定こども園は、乳児はよく食べ・遊び・眠るという生活リズムを確立し、豊かな感性や好奇心を育んだ。幼児の教育の時間は、これまでと変わることなく体験活動を通して仲間と心を通わせ自己肯定感、自己有用感を育んだ。3 月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため 1 号児とつくしんぼは臨時休園し、育休中の方には家庭保育をお願いした。卒園式は感染予防措置を図りながら行うことができたことは大きな感動と喜びとなった。

保育者は内外の多くの研修で研鑽した。今後も様々な研修に参加し、より質の高い教育及び保育を目指していきたいと思う。また、不審者対応訓練、避難訓練など行い、日々の危機管理に備えた。

子育て支援事業の「あそびば」では、色々なことを親子で体験し、親子で過ごす時間を大切にしてもらった。また、新年少親子対象の「めだか教室」では親子で友達作りができた。

こどもクラブの「ともっくあーとわーくす」では、自分で描きたいもの、作りたいものを表現し楽しめるようになった。

児童発達支援事業つくしんぼでは、朝の運動遊びや手先を使った遊びを積極的に実施し、覚醒を上げること、体幹を鍛えること、手先の巧緻性を高めることに努めた。保護者に向けては、講師による相談会の実施や日々の子どもの様子の連絡方法について改善する等保護者の支援に努めた。

豆の木では、子どもゆめ基金の助成事業採択により 3 企画の体験活動が開催できた。OB 会員の活発な活動により小学生の子育ちを応援できた。

令和 2 年度は新型コロナウイルスの感染防止を講じながらの活動となるが、NPO 法人としてできること、成すべきことに取り組んでいきたい。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容		実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
認定こども園 おひさま	自然体験、遊び、社会体験を通し、子どもたちが主体的に活動することで「生きる力」「自ら考える力」「他者を認める力」を育む。 子ども・子育て支援法、その他関係法令等を遵守し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、利用子どもの心身の状況等に応じて、特定教育・保育を提供。 病児保育		年間 月～土	園舎	各日 12～14 人	0～5才児 79人
認定こども園 子育て支援事業	あそびば 未就園児とその親を対象にして遊びと友達づくりの場の提供。		年間 54回 月.水.金曜他	園舎、地域の集会所他	各日 2～4人	就園前の親子 延べ 465組
	めだか教室 新入園児対象、スムーズに入園につなげる。親同士の親睦を図る。		10～3月 8回	園舎	2人	11人
	親を対象にした学習会		10/19	園舎	3人	31人
こどもクラブ	絵画・造形教室を行い子どもの情操教育を育む。		絵画 20回	園舎	3人	4、5才児 15人
つくしんぼ (児童発達支援)	発達課題のある子どもの集団活動、個別支援。		年間 月～土	園舎	各日 6人	3～5才児 登録13人 10月～12人
小学生 体験活動	地域の小学生を対象とした実体験と居場所づくりを支援する体験教室	科学体験 子ども夢基金助成事業	4/27 7/6 1/18	園舎	1回 4～8人	小学生延べ 89人
		交流体験（*芋作り、*まちはっけん、寺子屋） *印 子ども夢基金助成事業	芋作り 8回 まちはっけん 3回 寺子屋 3回	園舎 外	4～8人	小学生延べ 379人
		わの学校	3回	園舎 外	4～6人	小学生延べ 50人
ネットちゃん まつり	地域の子どもたちを対象に身近にあるものを利用し、おもちゃを作り遊ぶバザー		11/3（土）	園舎	50人	子どもと 大人 200人
広報、活動紹介	情報誌「まえはら Net-News」 新聞発行 HP・ブログ		4回 HP ブログ随時更新	園舎	1回 3人	1回 400部